



2017年度 決算総括と2018年度 業績予想

2018年5月23日

古河電池株式会社

取締役常務執行役員 高久 繁



目次



1. 17年度 決算総括
2. 18年度 業績予想
3. 補足資料

目次



1. 17年度 決算総括
2. 18年度 業績予想
3. 補足資料

17年度決算を振り返って

- 売上高は過去最高を達成。営業利益・経常利益・当期純利益とも、前年度・計画未達
- 海外売上高比率は、インドネシア子会社（FIBM）の難航により停滞。前年度並みに留まる

	17年度通期計画 (2017.5公表)	17年度実績	結果
売上高	620億円	605億円	
営業利益	40億円	29億円	
経常利益	36億円	28億円	
親会社株主に帰属する 当期純利益	27億円	21億円	
海外売上高比率	—	34.9%	

17年度決算 ハイライト

連結業績	国内外での自動車用電池の販売好調により増収。営業利益は、鉛価格上昇の影響などにより減少。		
	売上高	60,536百万円	前年度比 9.4% (5,215百万円) 増
	営業利益	2,980百万円	前年度比 10.7% (355百万円) 減
自動車 セグメント	国内外での自動車用電池の販売好調により増収増益		
	売上高	44,399百万円	前年度比 15.1% (5,838百万円) 増
	営業利益	1,800百万円	前年度比 14.6% (228百万円) 増
産業 セグメント	売上高は前年度並みも、製品ミックスの悪化や鉛価格上昇の影響などにより減益		
	売上高	17,282百万円	前年度比 0.7% (130百万円) 減
	営業利益	982百万円	前年度比 37.2% (581百万円) 減
海外 売上高	タイで現地通貨建て・円建てとも前年度比増収したことにより、海外売上高比率上昇		
	売上高	21,114百万円	前年度比 14.6% (2,685百万円) 増
	売上高比率	34.9%	前年度比 1.6pt 増

※ セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含みます。

17年度決算の概要

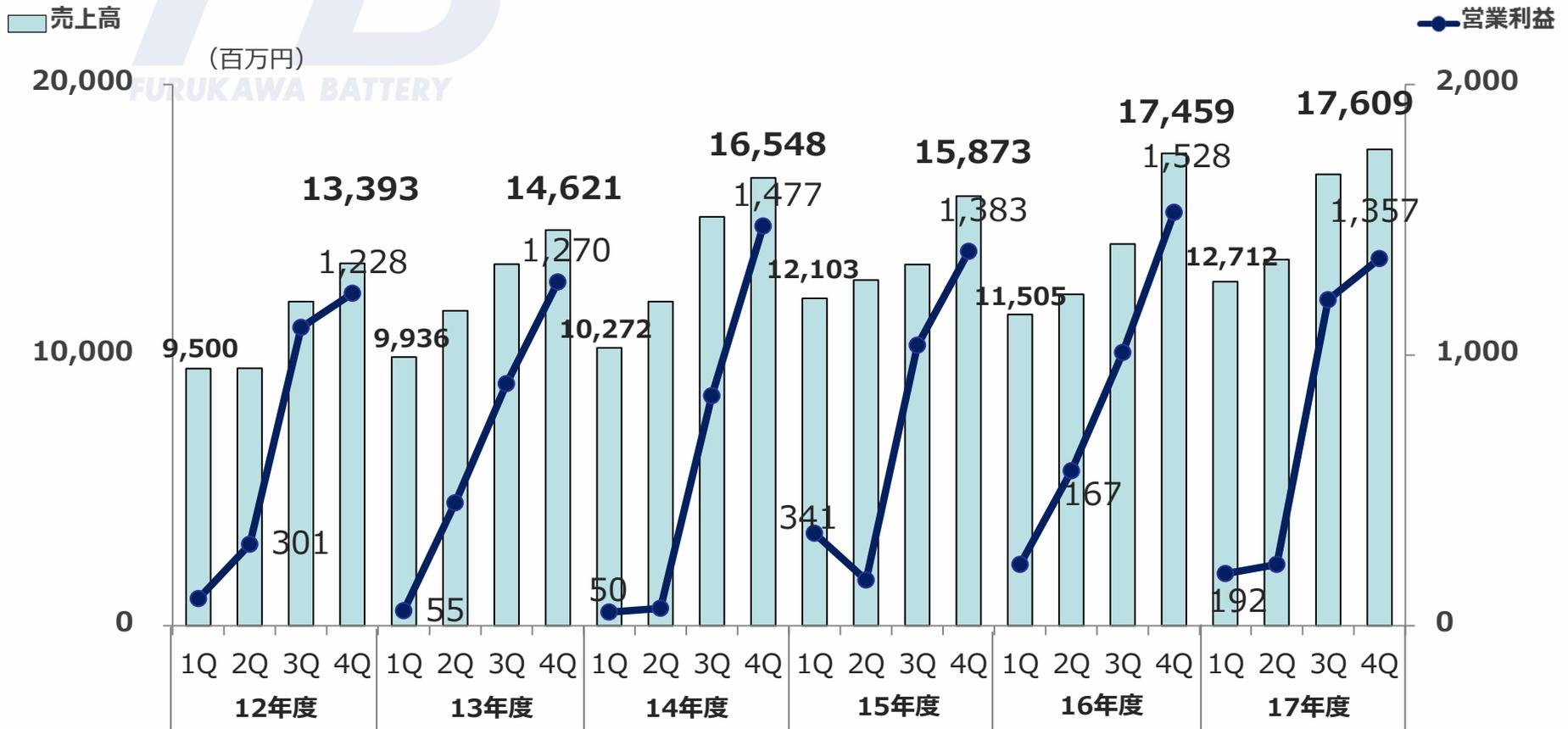
(百万円)

		16年度 実績	17年度 実績	前年度差 (増減)
売上高	国内	55,320	60,536	5,215
	海外	36,891	39,422	2,531
		18,429	21,114	2,685
営業利益		3,336	2,980	△ 355
対売上高比率		6.0%	4.9%	△1.1pt
経常利益		2,892	2,810	△ 81
対売上高比率		5.2%	4.6%	△0.6pt
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,373	2,136	△ 236
対売上高比率		4.3%	3.5%	△0.8pt

※ 切り捨て表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

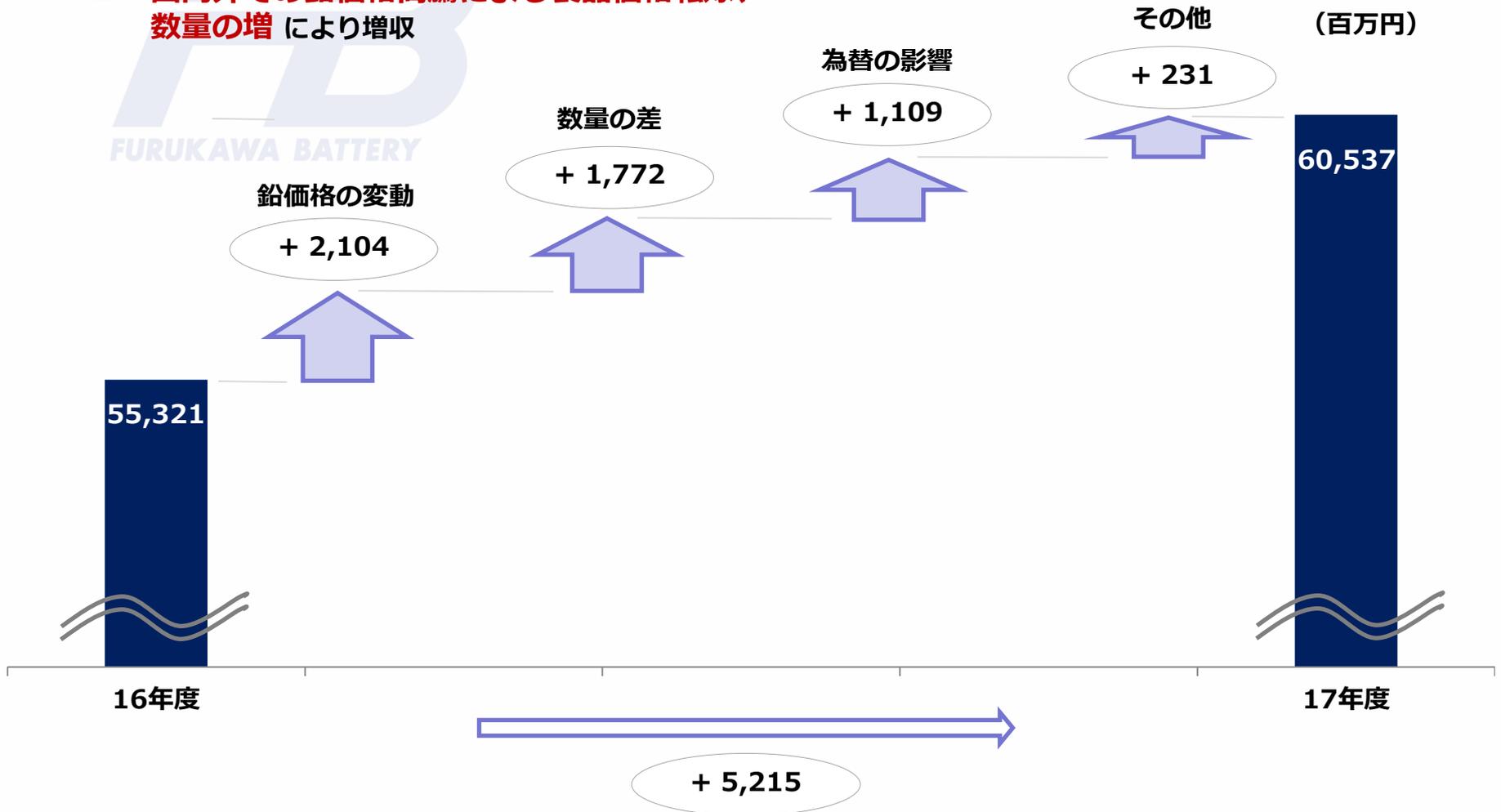
売上高・営業利益の推移（四半期）

- HV車の補機バッテリーの交換需要好調により、売上高は前年度比9.4%の増
- 鉛価格高騰・インドネシアFIBMの不振により、営業利益は前年度比10.7%の減



売上高 増減分析

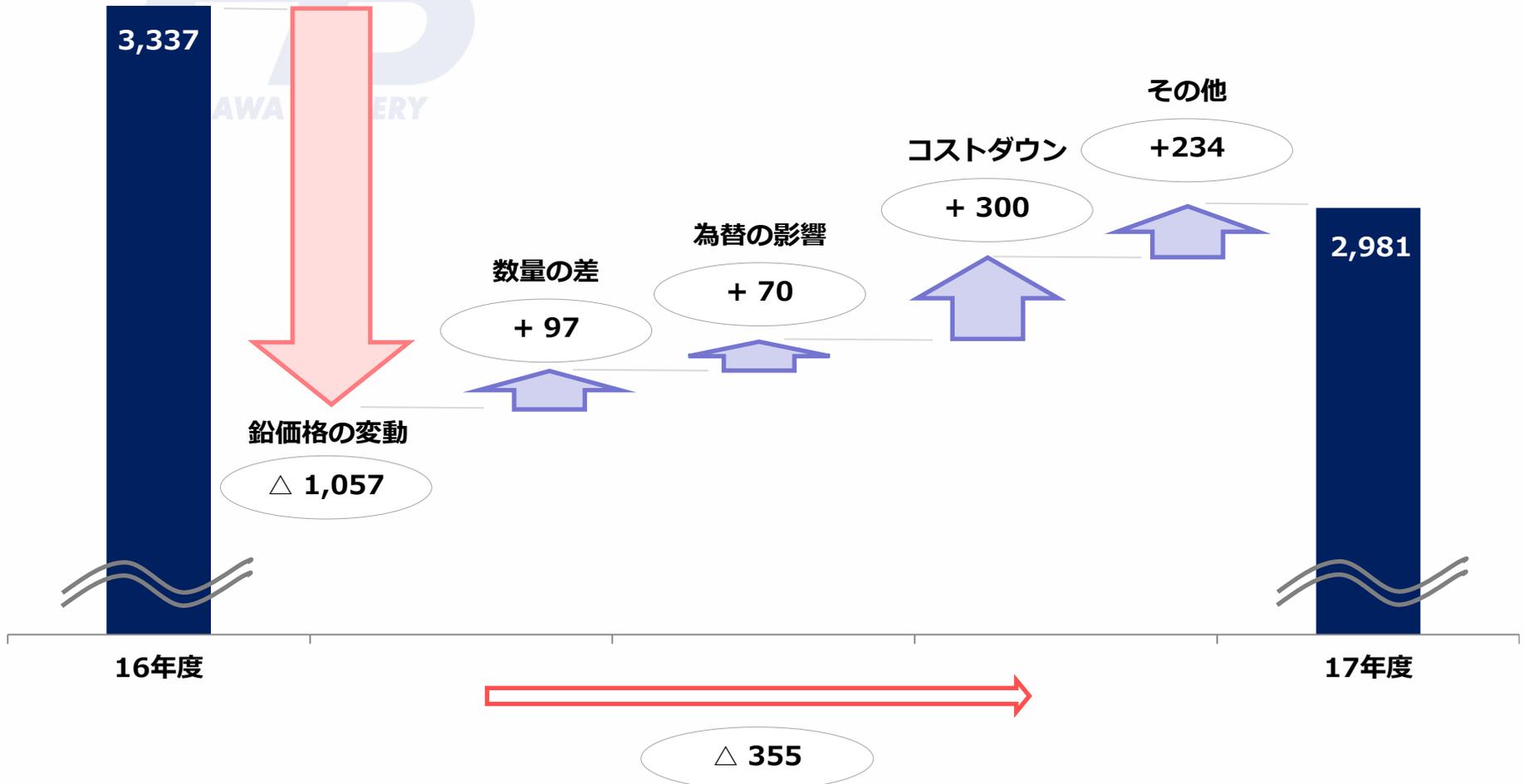
- 国内外での鉛価格高騰による製品価格転嫁、
数量の増により増収



営業利益 増減分析

- 鉛価格高騰によるコスト増 を数量増や効率生産で補いきれず減益

(百万円)



セグメント別 17年度決算の概要

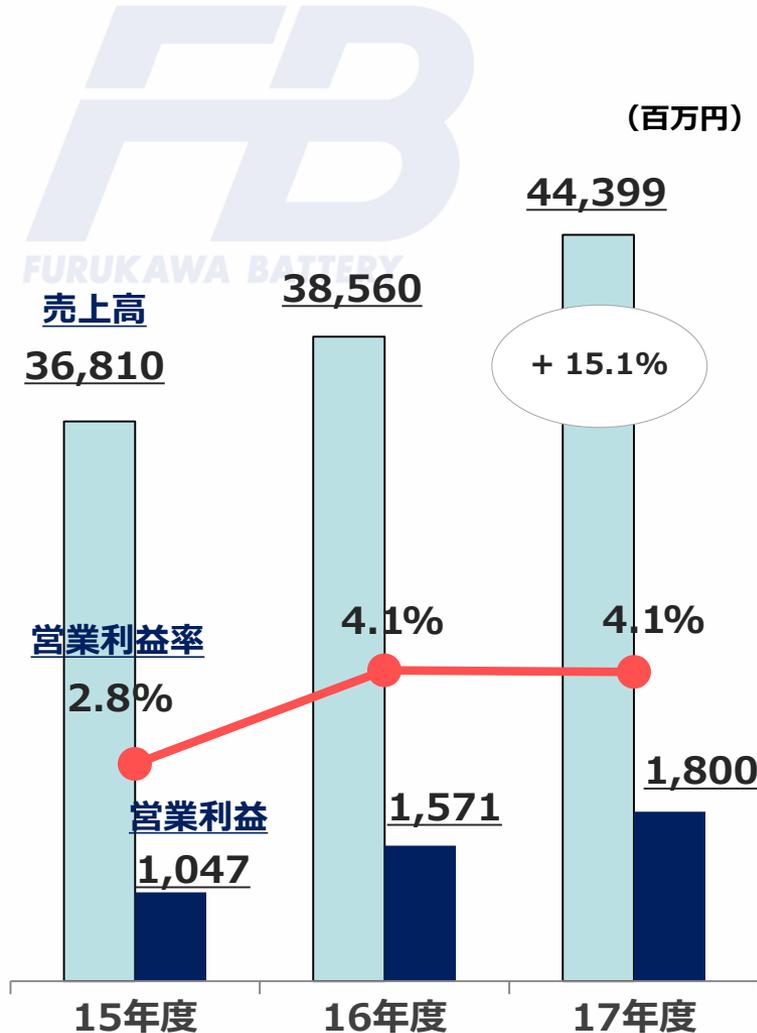
(百万円)

		16年度 実績	17年度 実績	前年度差 (増減)
自動車	売上高*	38,560	44,399	+5,838
	営業利益*	1,571	1,820	+228
	営業利益率(%)	4.1%	4.1%	
産業	売上高*	17,412	17,282	-130
	営業利益*	1,564	982	-581
	営業利益率(%)	9.0%	5.7%	
不動産	売上高*	390	384	-6
	営業利益*	192	188	-3
	営業利益率(%)	49.2%	49.0%	
その他	売上高*	726	726	0
	営業利益*	37	30	-7
	営業利益率(%)	5.1%	4.1%	
全社	売上高	55,320	60,536	+5,215
	営業利益	3,336	2,980	-355
	営業利益率(%)	6.0%	4.9%	-1.1pt

* セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含み、セグメント利益は営業利益（のれん償却前）ベースの数値です。

※ 切り捨て表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

自動車セグメントの状況



■ 売上高 * 44,399 百万円 (+5,838 百万円)

- ・ 国内外での自動車用電池が好調に推移し増収

■ 営業利益 1,800 百万円 (+228 百万円)

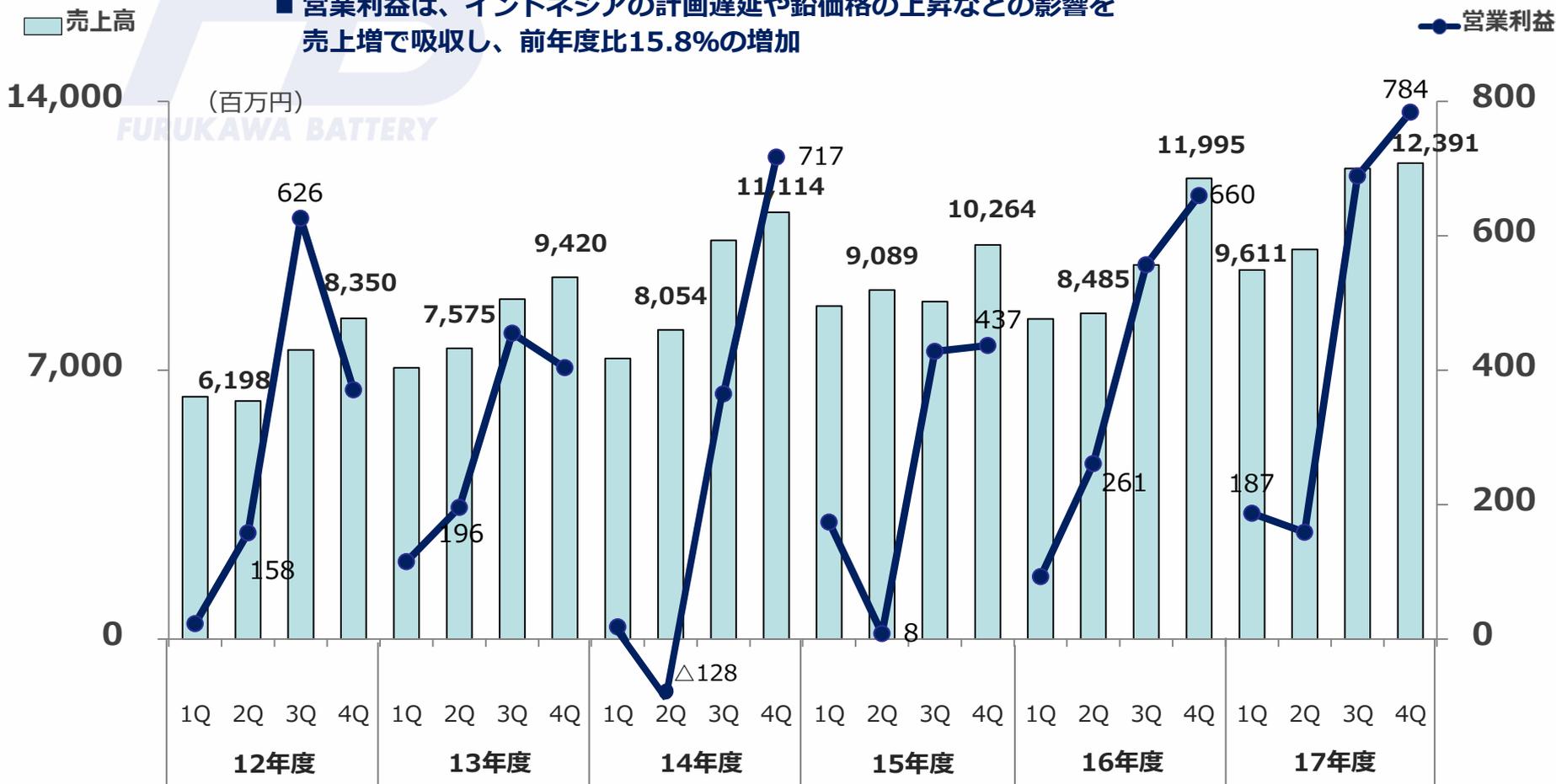
- ・ 売上高の増加やいわき新設備の安定稼働による効率生産により増益



* セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含み、セグメント利益は営業利益（のれん償却前）ベースの数値です。

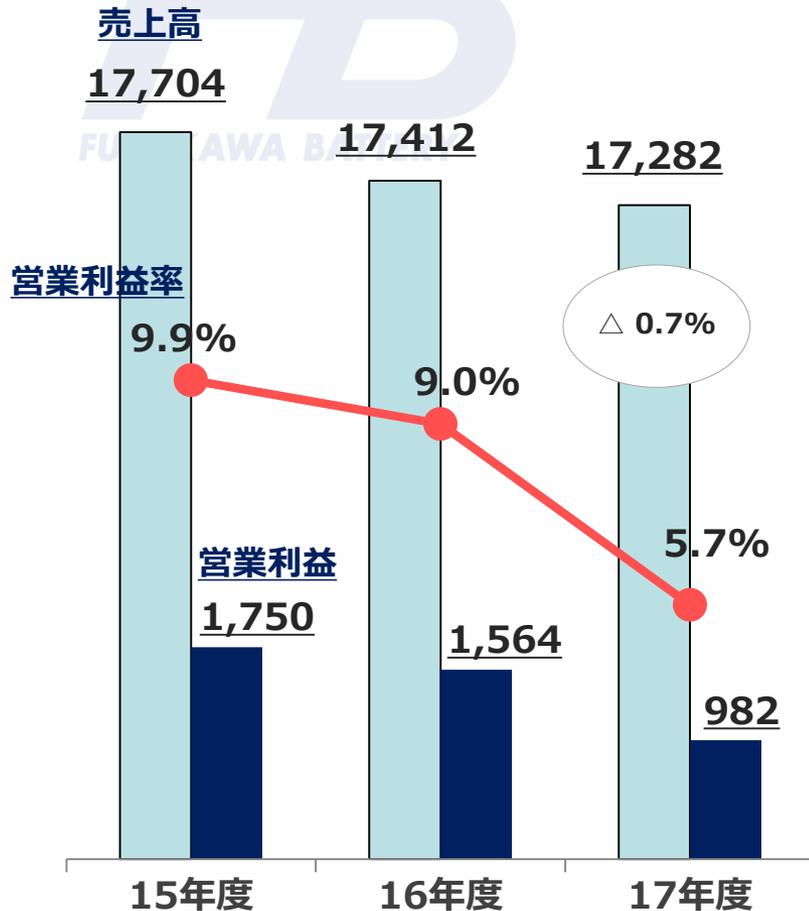
自動車セグメント 売上高・営業利益の推移

- 17年度の売上高は、いわき工場の新設備での補機バッテリーやIS車用バッテリーの安定量産が寄与し、前年度比15.1%の増加。但し、海外は計画下振れ
- 営業利益は、インドネシアの計画遅延や鉛価格の上昇などの影響を売上増で吸収し、前年度比15.8%の増加



産業セグメントの状況

(百万円)



■ 売上高 * 17,282 百万円 ($\Delta 130$ 百万円)

- 大型鉛事業が低調に推移したことなどにより減収

■ 営業利益 982 百万円 ($\Delta 581$ 百万円)

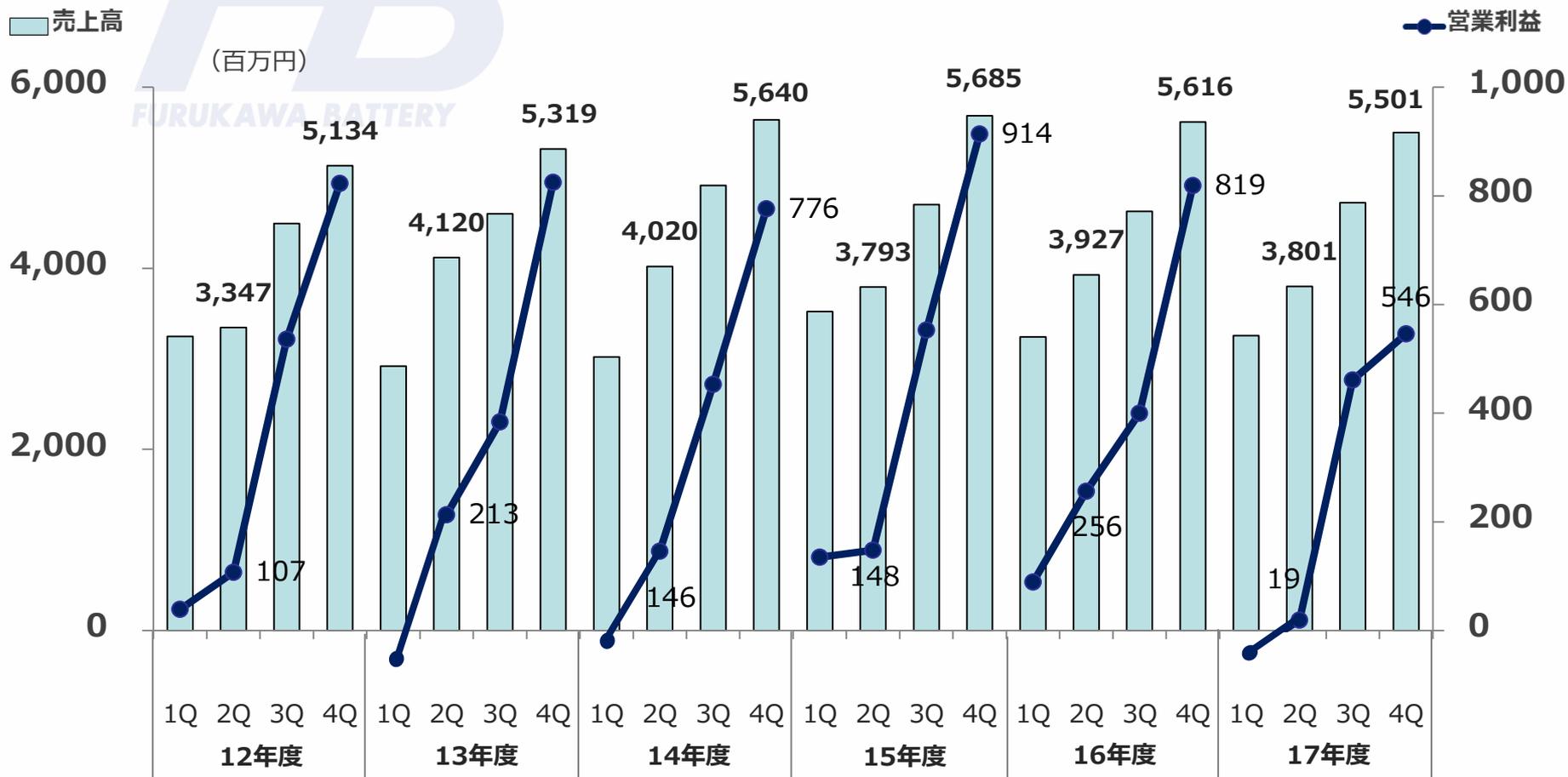
- 鉛価格上昇の影響や製品ミックスの悪化などにより減益



* セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含み、セグメント利益は営業利益（のれん償却前）ベースの数値です。

産業セグメント 売上高・営業利益の推移

- 17年度の売上高は、案件の減少などにより前年度微減。
- 営業利益は、製品ミックスの悪化や鉛価格上昇の影響などにより、前年度比37.2%減少



海外展開の状況

インド【技術支援】

Exide Industries Limited

自動車用/二輪車用

中国【技術支援】

青島亜通达铁路设备有限公司 (ATD)

鉄道車両用(アルカリ)

山东圣阳电源股份有限公司 (Sacred Sun)

産業用鉛

Inter Far East Wind International CO., LTD.

(アイwind : I-WIND社)

タイで風力発電ビジネスを展開。
タイ国内初蓄電システムの構築に
当社のUltraBatteryを採用

タイ【連結(完全)子会社】



SIAM FURUKAWA CO., LTD.

(サイアム・フルカワ社 : SFC)

自動車用電池の販売が堅調に推移
連結業績にも寄与
借入金なしの健全な経営状況

ベトナム【資本提携】

Dry Cell and Storage Battery Joint Stock Company

(ドライセルアンドストレージバッテリー : PINACO)

16年9月に株式取得。Vietnam National Chemical Group(国営)
に次ぐNo.2株主に

インドネシア【連結子会社】



PT. FURUKAWA INDOMOBIL BATTERY MANUFACTURING

(フルカワ インドモービルバッテリー マニュファクチャリング : FIBM)

2015年2月 新工場竣工。サリム財閥と提携。製販双方で赤字縮小に注力中

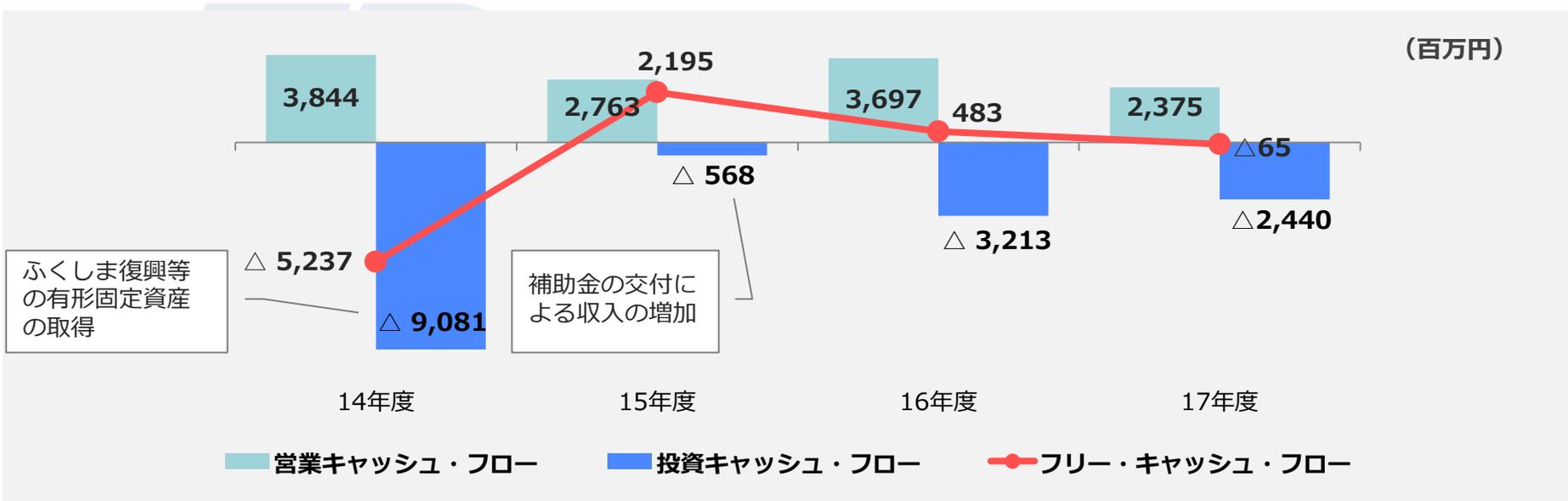
海外売上高の状況

- 12年度ごろからのタイ子会社の安定化・事業拡大などにより、海外売上高は増加傾向
- 今後の海外売上高UPに向け、インドネシアFIBMの安定化・成長が急務



キャッシュ・フローの状況

(百万円)



■ 現金及び現金同等物の増減額 $\Delta 1,540$

営業活動によるCF	2,375
税金等調整前当期純利益	2,804
減価償却費	2,543
売上債権の増減額	$\Delta 801$
たな卸資産の増減額	$\Delta 774$
法人税等の支払額	$\Delta 1,266$
投資活動によるCF	$\Delta 2,440$
有形固定資産の取得による支出	$\Delta 2,511$

財務活動によるCF	$\Delta 1,530$
短期借入金の純増減額	$\Delta 1,799$
長期借入れによる収入	1,400
長期借入金の返済による支出	$\Delta 2,092$
配当金の支払い額	$\Delta 295$
非支配株主からの払込みによる収入	1,644
子会社株式の取得による支出	$\Delta 285$

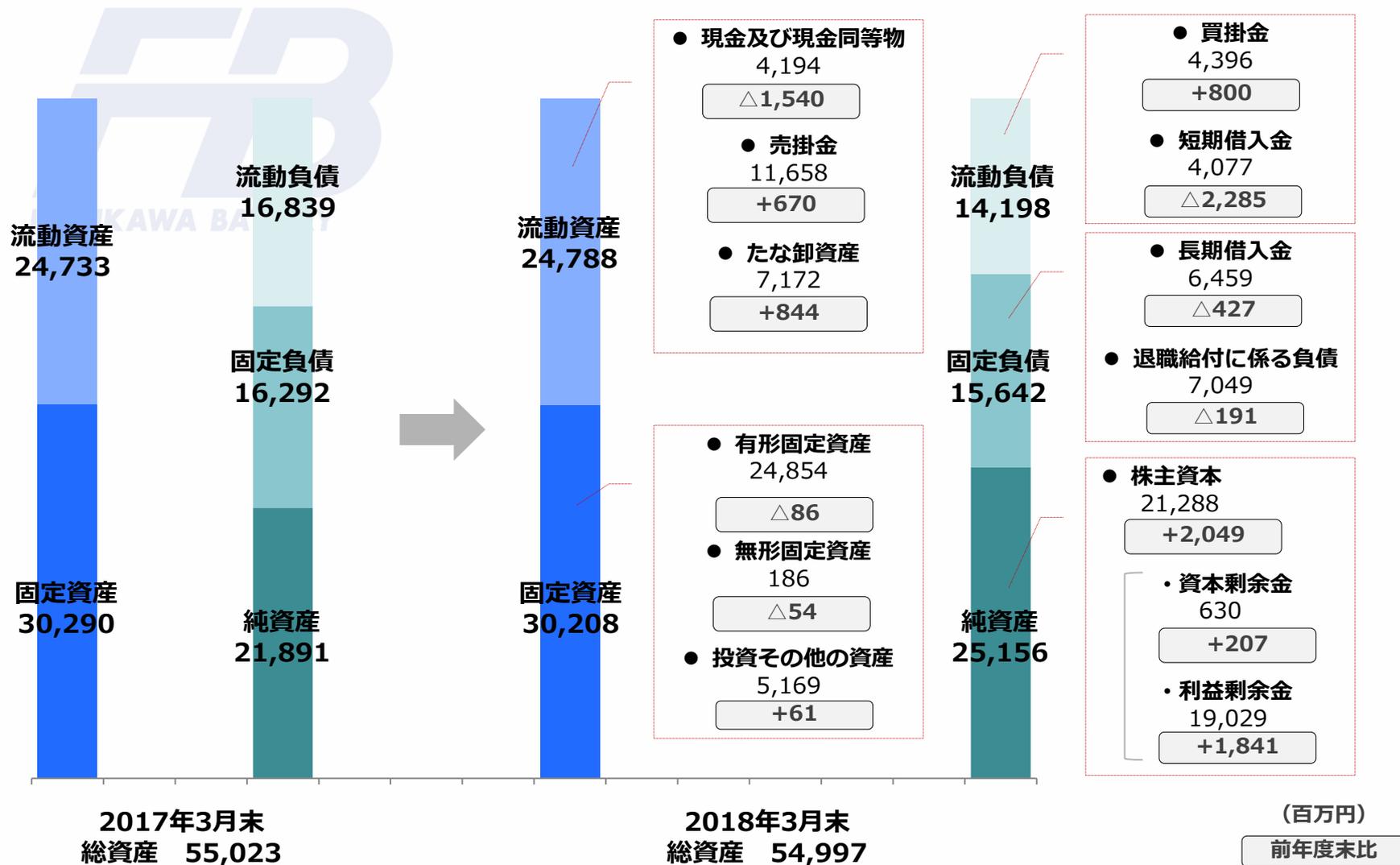
連結財政状態に関する経営指標

(百万円)

	17年3月末	18年3月末	前年度末比	17年12月末
総資産	55,023	54,997	△ 25	55,675
流動資産	24,733	24,787	55	25,011
固定資産	30,290	30,210	△ 81	30,664
純資産	21,891	25,156	3,265	24,907
有利子負債	13,250	10,537	△ 2,713	11,643
自己資本	20,607	23,295	2,687	22,348
自己資本比率	37.5%	42.4%	+4.9pt	40.1%
D/Eレシオ (倍)	0.64	0.45	△0.19pt	0.52
総資産経常利益率 (ROA)	5.5%	5.1%	△0.4pt	—
自己資本利益率 (ROE)	12.2%	9.7%	△2.5pt	—

※ 切り捨て表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

2018年3月末 連結財政状態



目次



1. 17年度 決算総括
- 2. 18年度 業績予想**
3. 補足資料

18年度 連結業績予想

- 売上高 640億円
- 営業利益 32億円
- 国内自動車事業の堅調な推移に加え、産業事業とタイSFCの増収増益が業績牽引



(百万円)

	17年度 実績			18年度 予想			増減額 (b-a)	増減率
	上期	下期	通期(a)	上期	下期	通期(b)		
売上高	26,247	34,290	60,537	29,000	35,000	64,000	+3,463	+5.7%
営業利益	419	2,562	2,981	400	2,800	3,200	+219	+7.4%
経常利益	216	2,595	2,811	250	2,750	3,000	+189	+6.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	249	1,888	2,137	200	2,000	2,200	+63	+3.0%
海外売上高比率	37.5%	32.9%	34.9%	—	—	40.0%		

為替レート

- ・17年度（期末） 1パーツ=3.45円 100インドネシアルピア=0.84円
- ・18年度（前提） 1パーツ=3.30円 100インドネシアルピア=0.85円

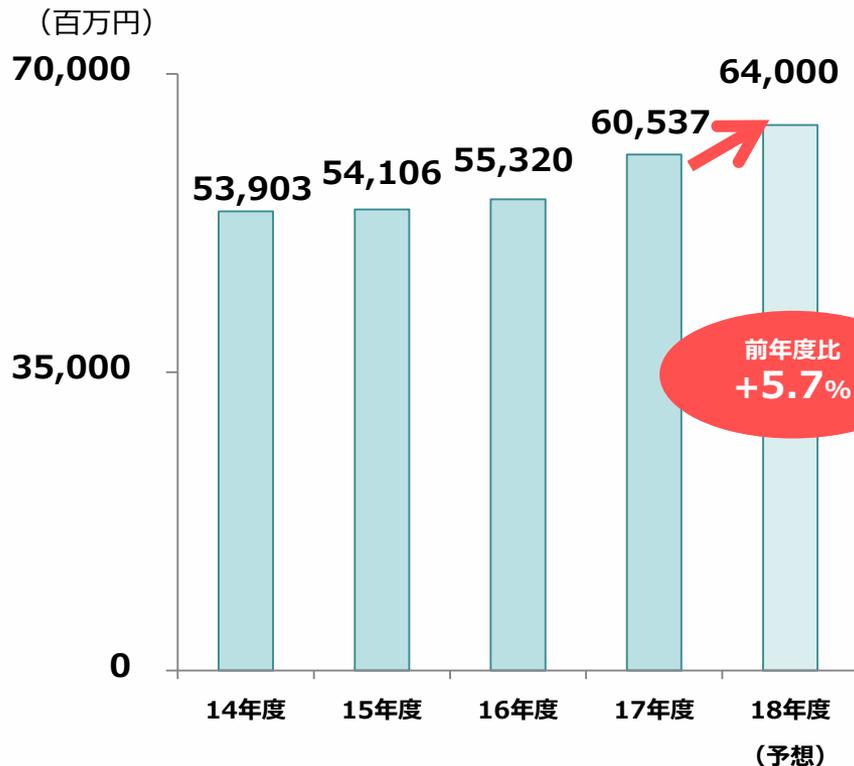
鉛建値

- ・17年度（平均） 323.5千円/t
- ・18年度（前提） 295.0千円/t

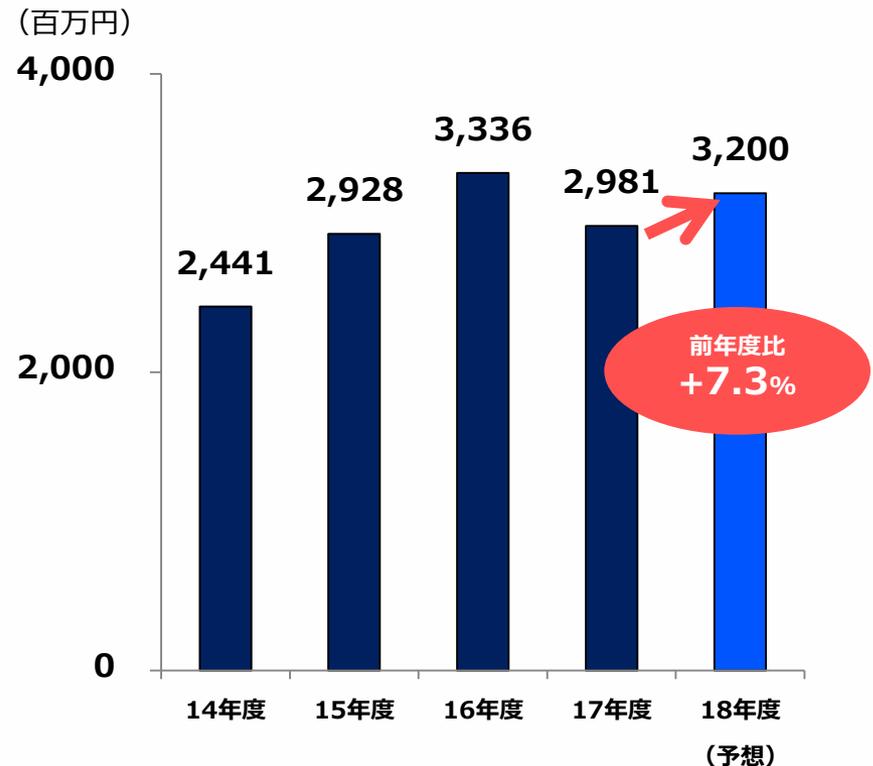
連結業績の推移

- 17→18年度の売上高の伸び率は鈍化も、着実な成長を実現
- 17年度低調だった産業事業立て直し、タイでの販売促進により増益を目指す
- インドネシア（FIBM）は前年度比増収、赤字体質脱却を図る

■ 売上高

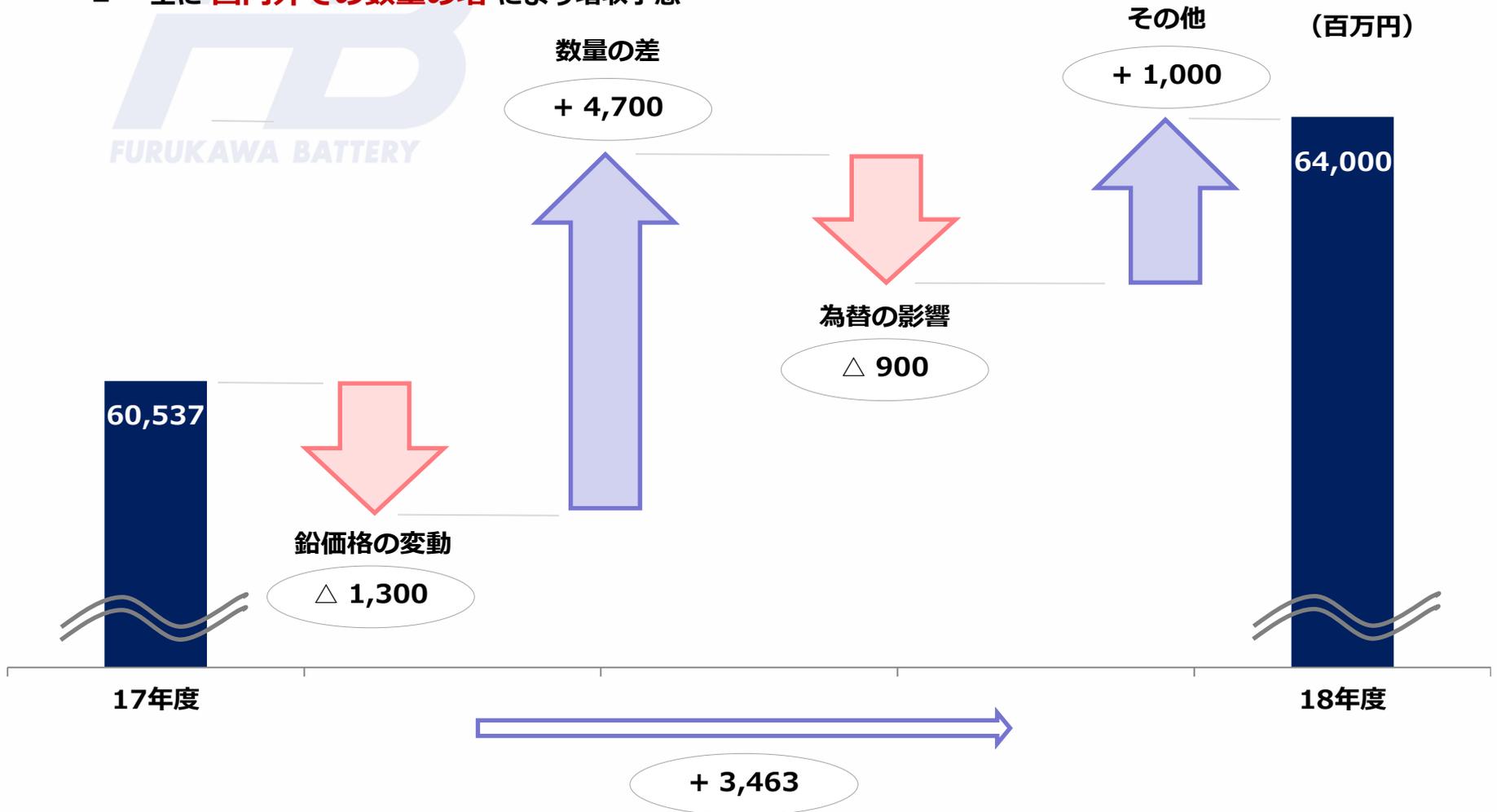


■ 営業利益



売上高 増減分析

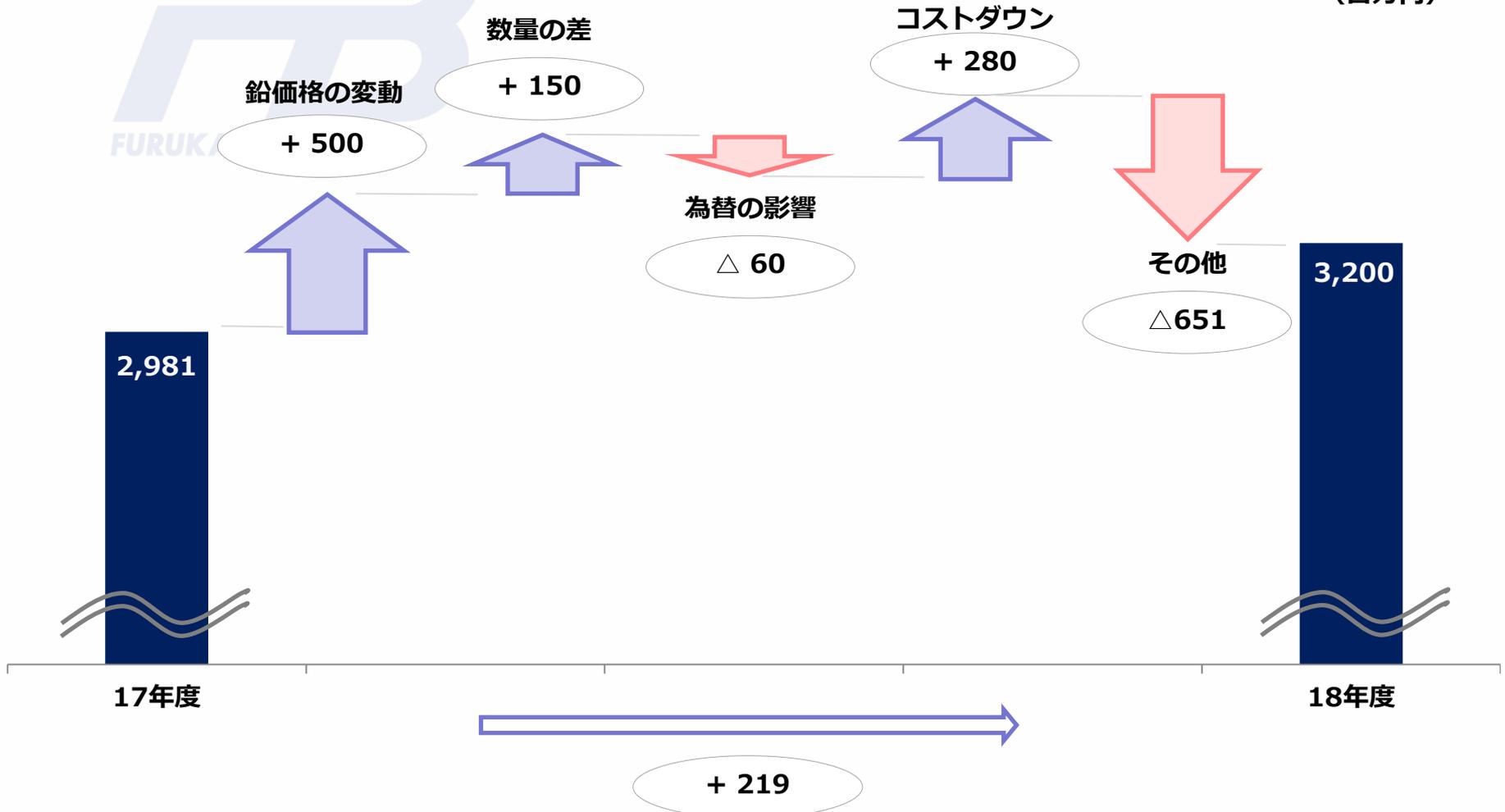
- 主に **国内外での数量の増** により増収予想



営業利益 増減分析

- 主に 国内外での数量の増、コストダウン により増益予想

(百万円)



株主還元

- 今後の持続的な成長のため
国内外での投資と株主に対する利益還元のバランスを重視
- まずは18年度業績目標を達成し、次期中計以降、事業拡大を図ることで
安定的な株主還元を継続

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度 (予想)
ROE (%)	11.1	13.4	12.2	9.7	9.1
1株当たり配当金 (円)	7.00	8.00	9.00	10.00	11.00
配当金総額 (百万円)	229	262	295	327	360
配当性向 (%)	13.1	11.1	12.4	15.3	16.4

目次



1. 17年度 決算総括
2. 18年度 業績予想
- 3. 補足資料**

個別経営成績

(百万円)



	16年度 実績	17年度 実績	前年度差 (増減)
売上高	37,979	40,814	2,835
営業利益	2,114	1,912	△ 202
対売上高比率	5.6%	4.7%	△0.9pt
経常利益	2,469	2,474	5
対売上高比率	6.5%	6.1%	△0.4pt
当期純利益	1,709	1,834	125
対売上高比率	4.5%	4.5%	△0.2pt
鉛建値 (千円/t)	275.0	323.5	48.5

個別財政状態に関する経営指標

(百万円)

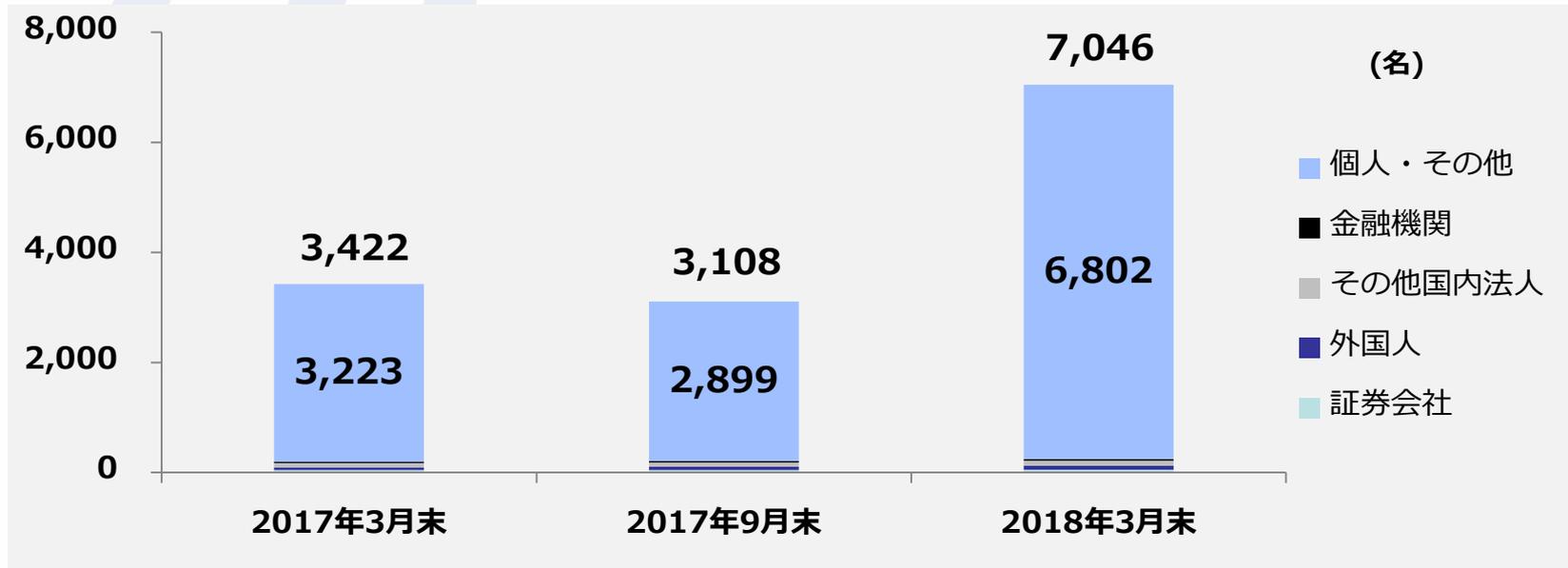
	17年3月末	18年3月末	前年度末比	17年12月末
総資産	35,844	37,144	1,300	37,252
純資産	13,344	15,118	1,774	14,358
有利子負債	6,600	6,584	△16	7,615
自己資本比率	37.2%	40.7%	+3.5pt	39.0%
D / E レシオ (倍)	0.49	0.44	△0.05pt	0.53
総資産利益率 (ROA)	5.0%	5.0%	0.0pt	—
自己資本利益率 (ROE)	13.7%	12.9%	△0.8pt	—

※ 切り捨て表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

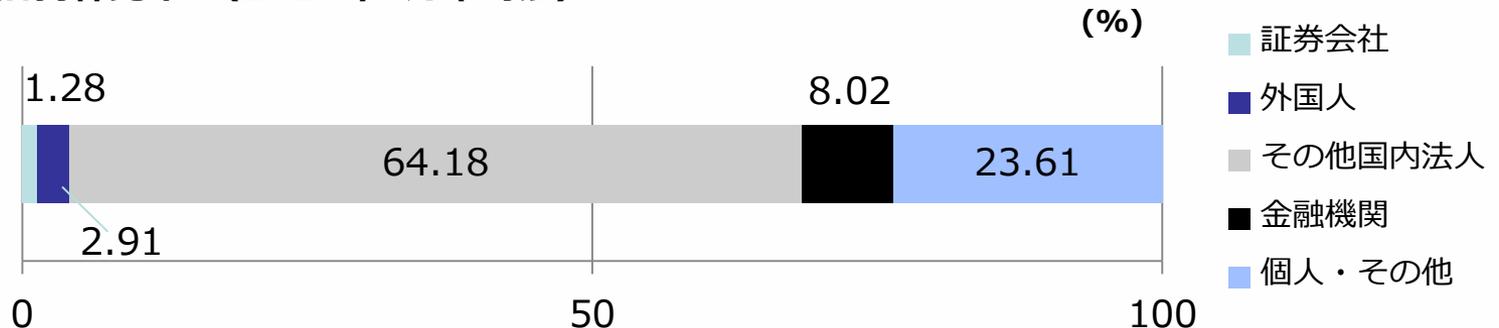
株式情報

■ 株主数*の推移

*自己名義株式除く



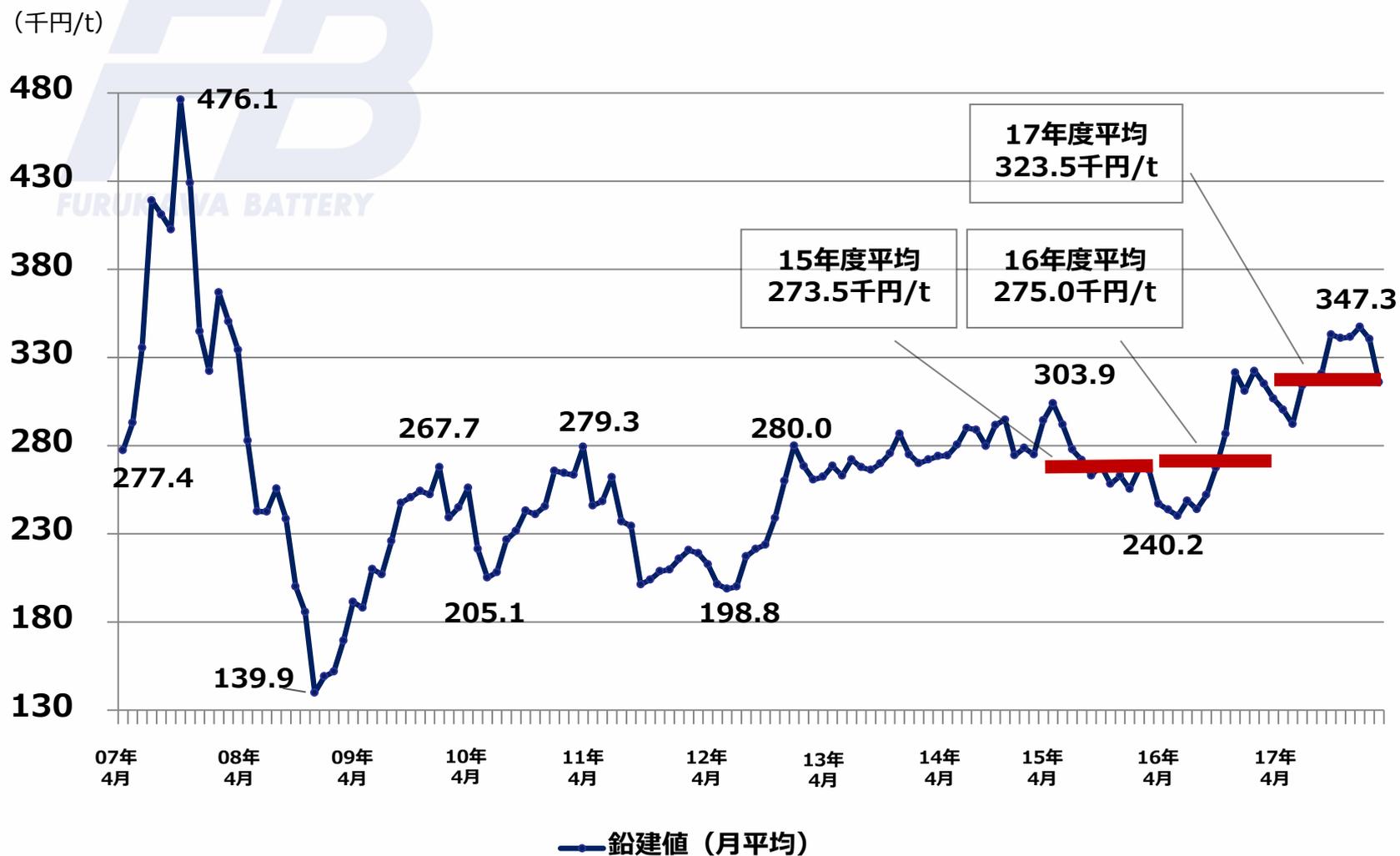
■ 所有者別持株比率* (2018年3月末時点)



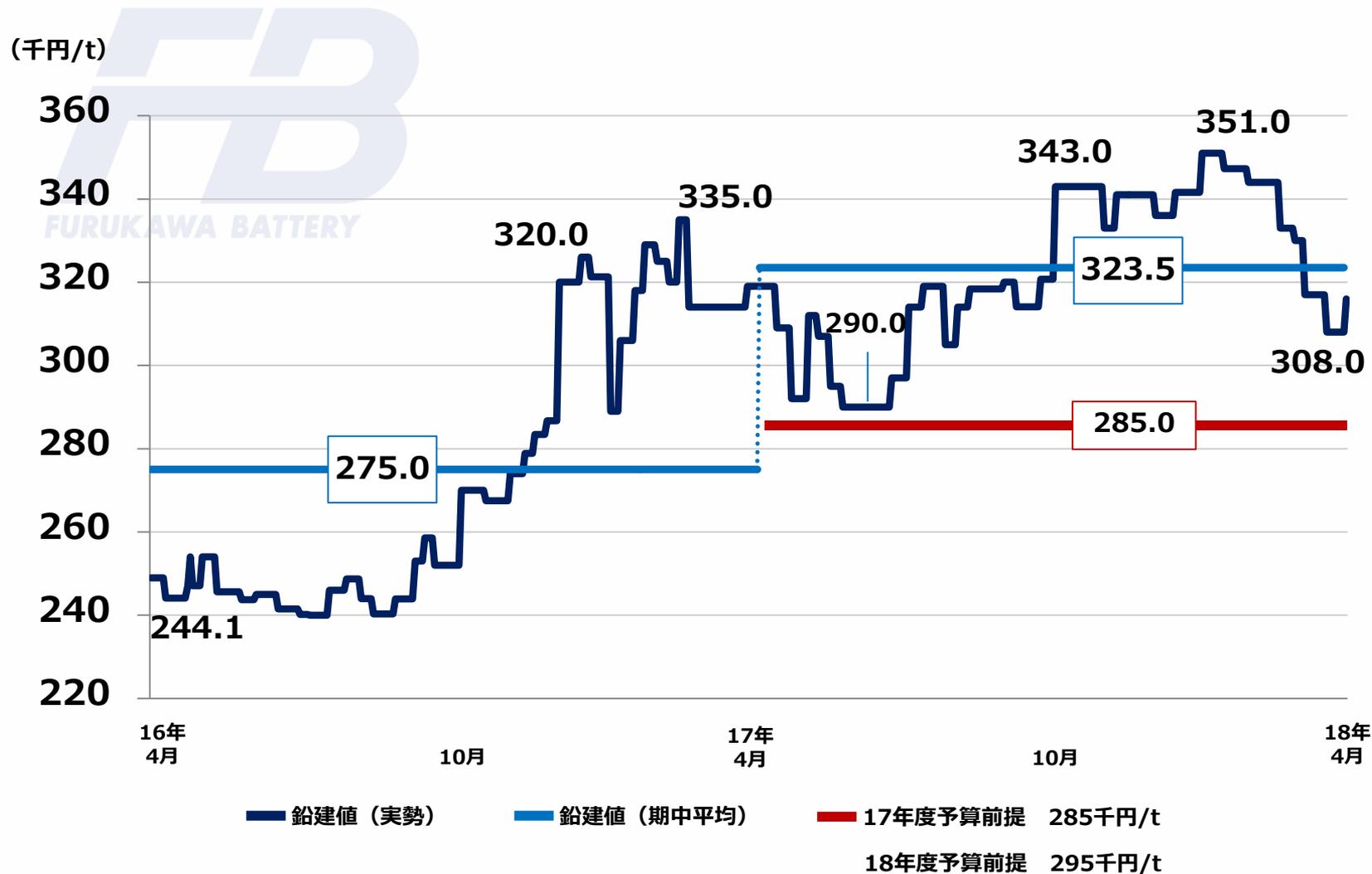
株価推移 (07~17年度)



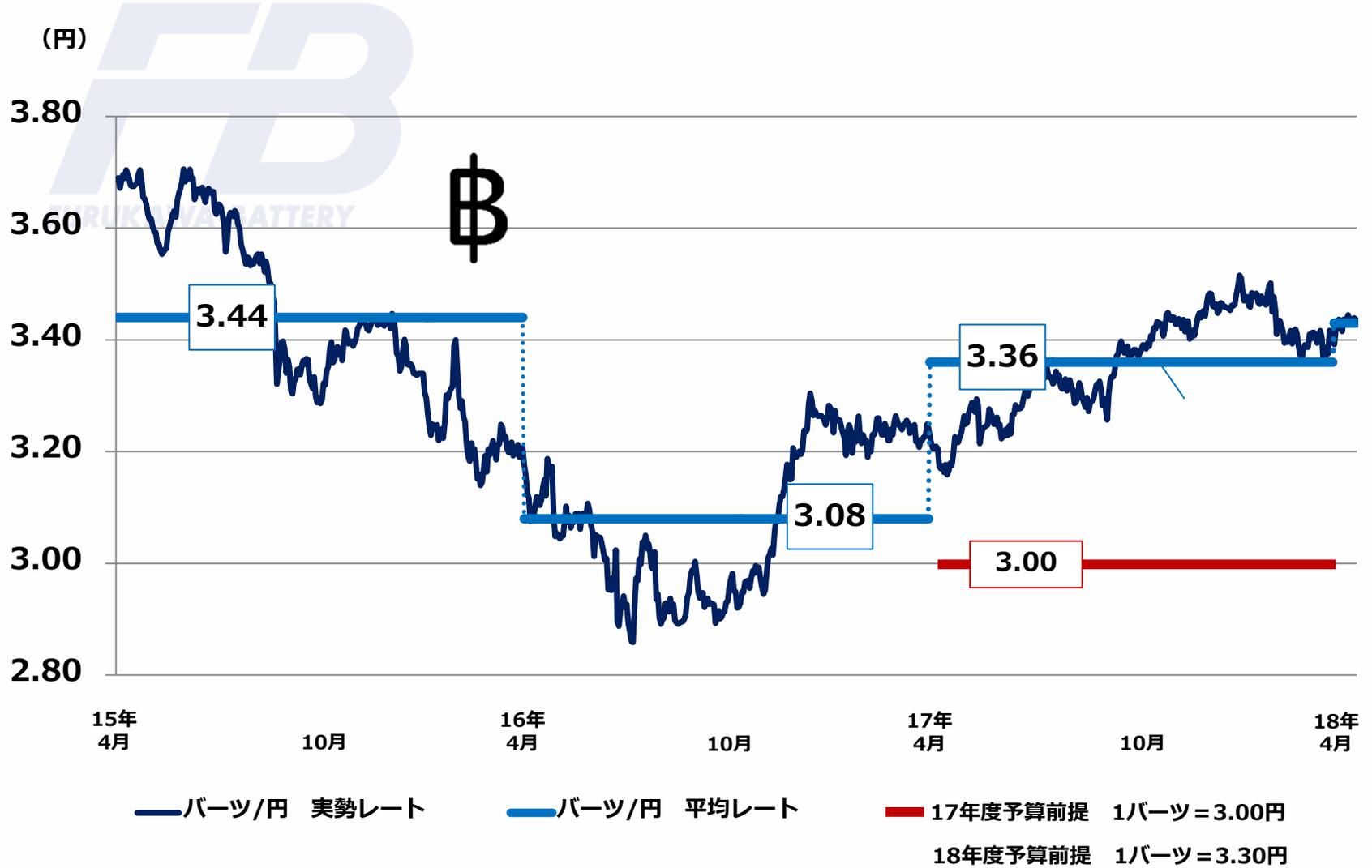
鉛建値推移 (07~17年度)



鉛建値価格推移 (16年4月~18年4月)

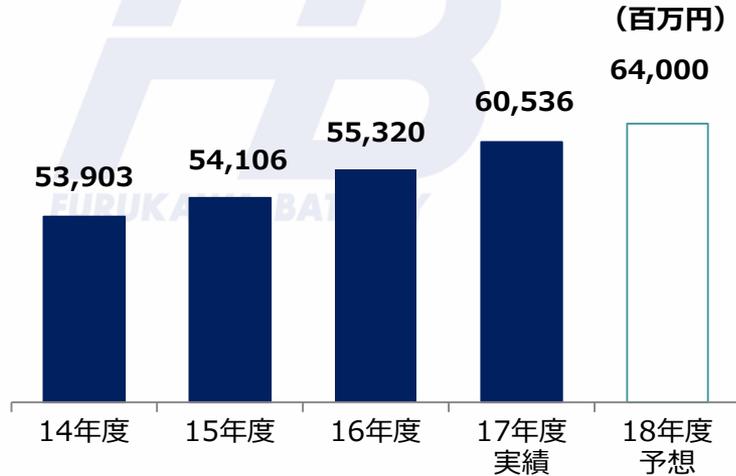


為替レートの推移

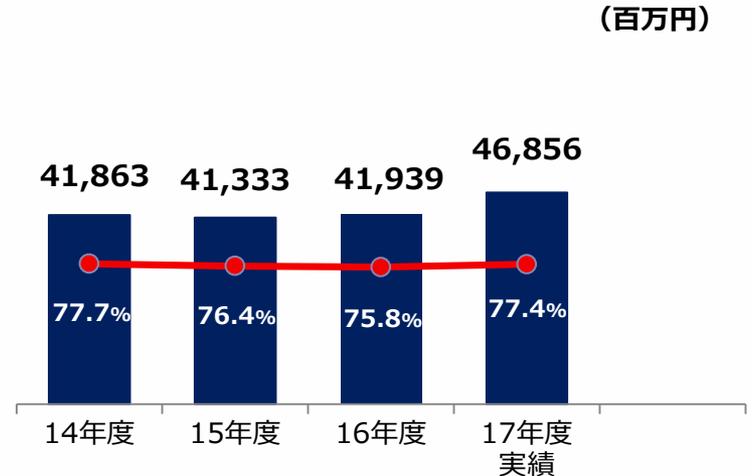


業績データ①

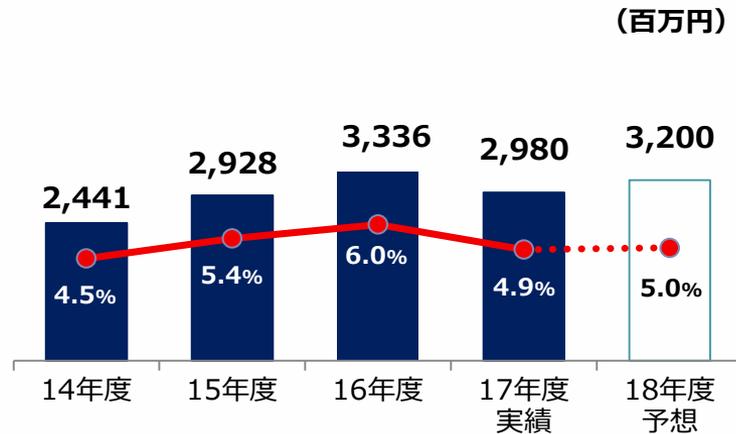
売上高



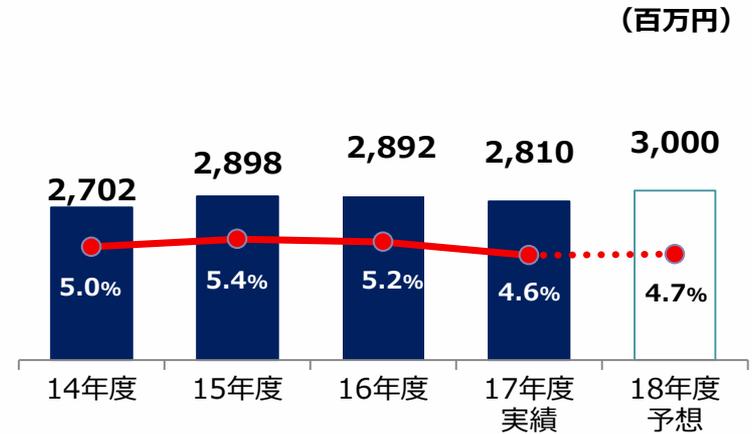
売上原価



営業利益

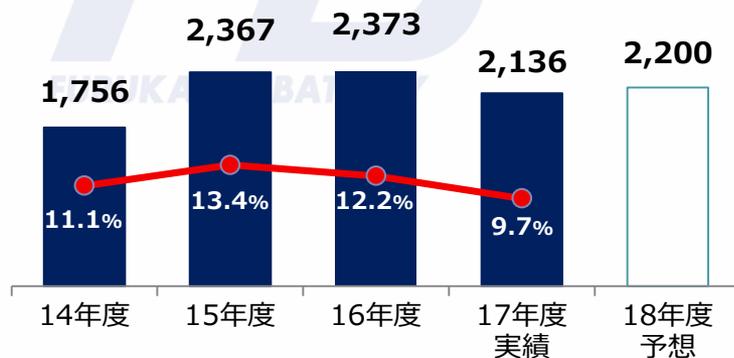


経常利益

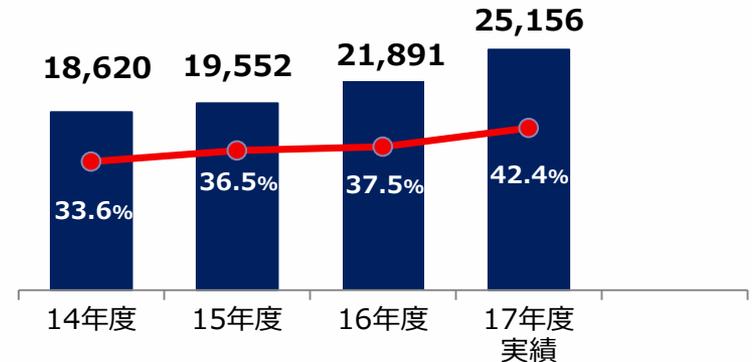


業績データ②

親会社株主に帰属する当期純利益・ROE
(百万円)



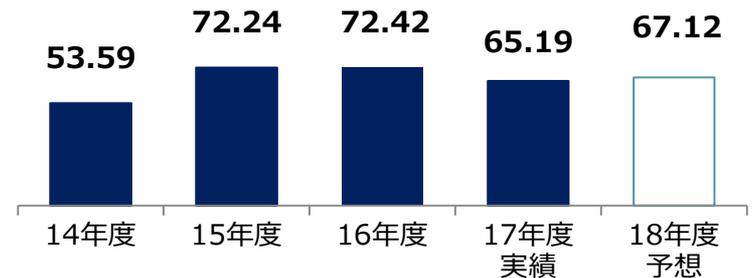
純資産・自己資本比率
(百万円)



ネット有利子負債・ネットD/Eレシオ
(百万円)



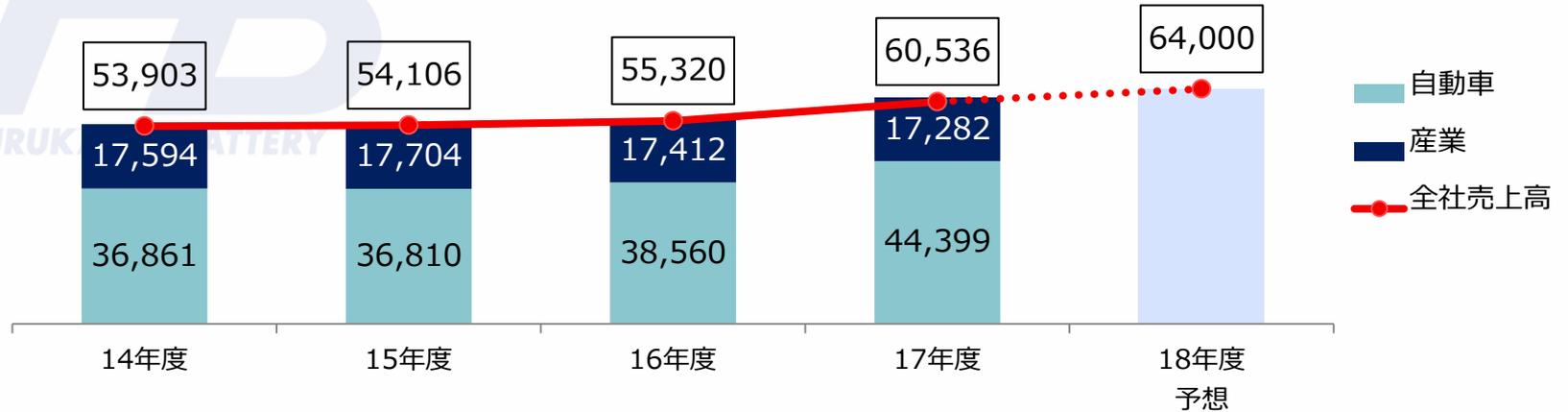
1株当たり当期純利益
(円)



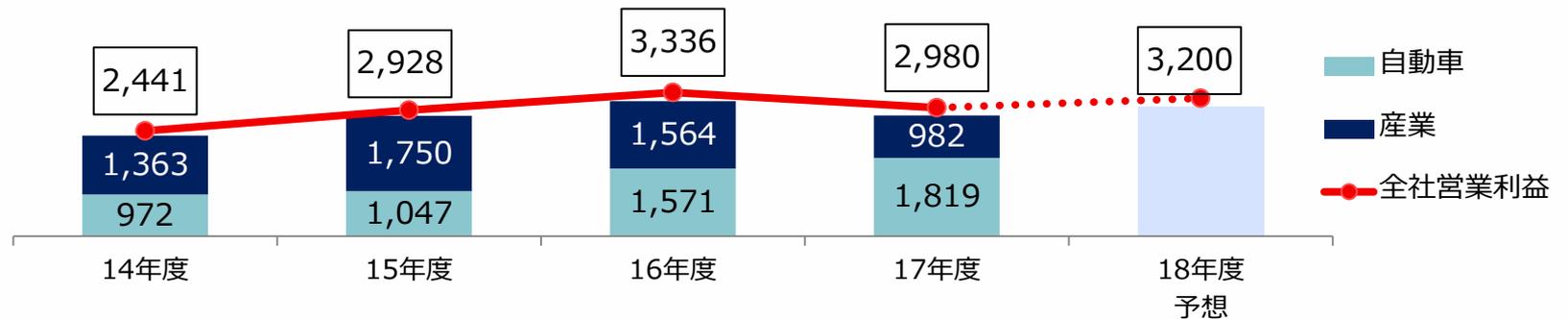
業績データ③

セグメント別 売上高の推移

(百万円)



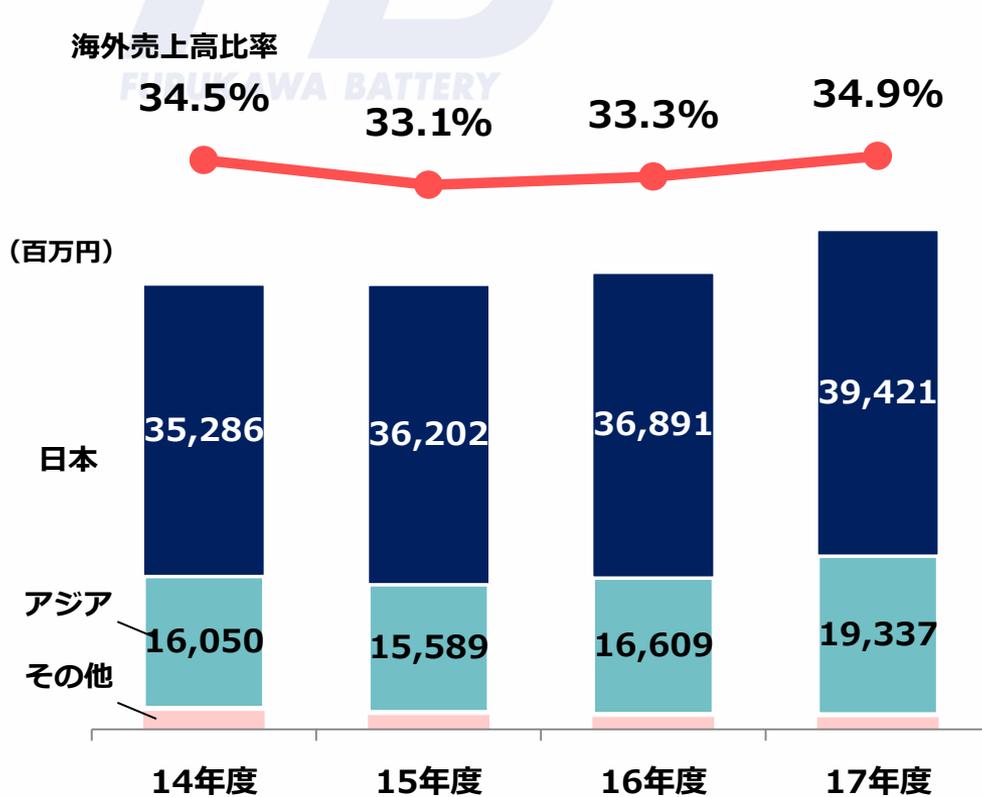
セグメント利益の推移



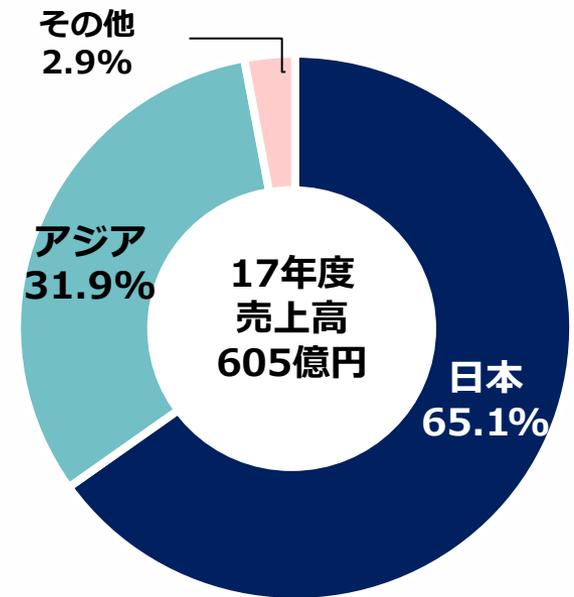
* セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含みます。
セグメント利益は営業利益（のれん償却前）ベースの数値です。

業績データ④

■ 地域別売上高



地域別売上高比率



※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

鉛蓄電池市場グローバルシェア*

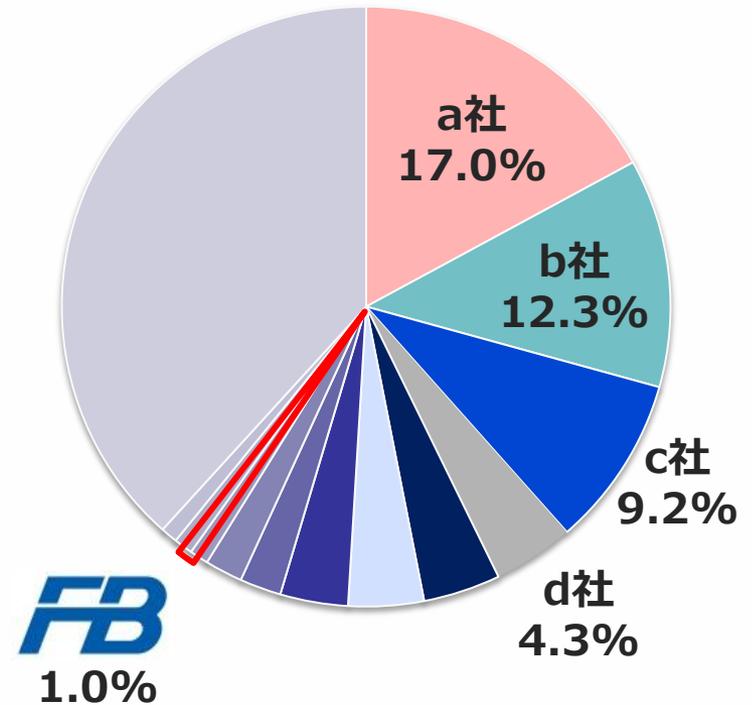
■ 生産金額ベース

(億円)

		2016年 実績	シェア
1	A社	5,160	13.9 %
2	B社	2,790	7.5 %
3	C社	2,700	7.2 %
4	D社	1,900	5.1 %
5	E社	1,520	4.1 %
⋮		⋮	⋮
10	古河電池 FB	360	1.0 %
	その他	18,200	48.9 %
	合計	37,250	100.0 %

■ 生産数量ベース

※ 2016年実績



* 出典：富士経済「2017 電池関連市場実態総調査 上巻」

将来情報についての注意事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しており、主要なものとして以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 為替相場の変動による影響
- ・ 主要製品に使用される原材料の価格変動
- ・ 海外における政治的および社会的リスク
- ・ 取引先の業績悪化等
- ・ 自然災害の影響

なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。

(注) 当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。
年度表記について、14年度は2015年3月期、15年度は2016年3月期（以下同様）を表しています。